

神戸の農村で
新しい未来を
創る人のための
プログラム。



くらしと
しごとを
つくっていく。

2025年度7期生
受講者募集中

期間:2025.7/18(金)~8/31(日)

説明会も開催!

詳しくは裏面へ。



Create your life and work.

Kobe Noson
Start Up
Programme
2025

kobenoson.jp

神戸
農村

START UP
PROGRAMME

PROGRAMME

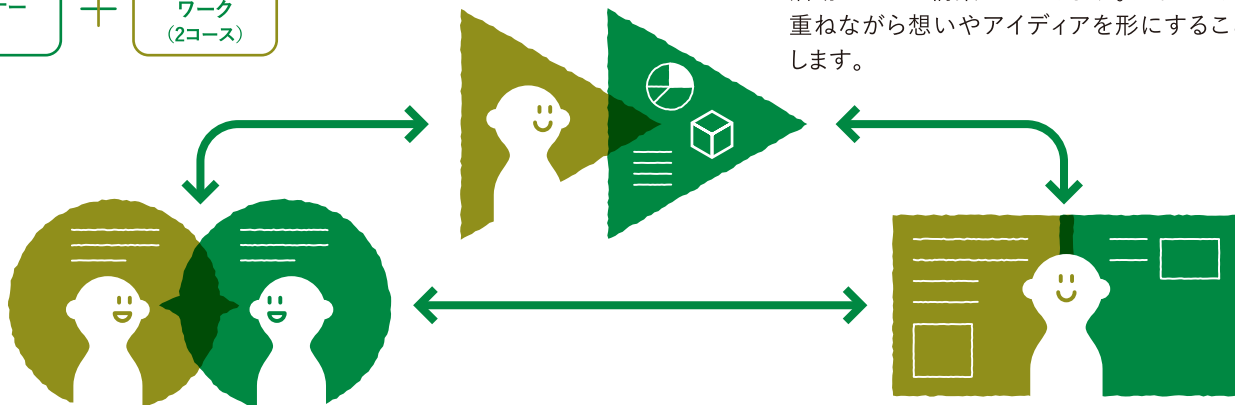
プログラムの構成

開講期間は、2025年9月～2026年3月までの半年間。
3つの領域を学びながら、神戸の農村での創業を目指します。

セミナー

+

フィールド
ワーク
(2コース)



志と計画を作る Make Mission / Plan

事業を通して目指すものを考え、ビジネスモデルや、活動プランを構築していきます。ディスカッションを重ねながら想いやアイデアを形にすることを支援します。

地域と人を知る Know Where / People

神戸の農村(北区、西区)を実際に訪れ、その場所と人々、そして仕事を知ります。講師は、現地で活躍する事業者や農家、本プログラムの卒業生の方々。現場のネットワークが広がります。

知と行動を知る Know How / Process

食・農・地域ビジネスに関する現場発の理論やノウハウを学びます。講師は、農村ビジネスの先駆者や専門家など。事業者がとった“行動”に注目することにより、実際に事業を進める方法(プロセス)を学びます。

フィールドワーク 9/28(日)・10/19(日)・11/23(日)・12/14(日)

地域社会は、地域で仕事を創る地域ビジネス人材と、地域力醸成に貢献する地域づくり人材によって、豊かなエコシステムがつくられます。そのため現地視察のテーマを「地域ビジネス」と「地域づくり」に分け、様々な事例を見学しながら多様な考え方や発想を学びます。

※当プログラムは農業研修に当たらないため、農家資格(農地を取得する権利)を得ることはできません。

① 地域ビジネスコース

起業・創業に向けた考え方を学びます。飲食店、宿泊観光や施設活用まで、神戸農村で仕事を創っている方々を訪ねながら現場の最前線を体感します。

② 地域づくりコース

兼業・複業・プロボノ(専門性を活かしたボランティア活動)など、多様な関わり方を学びます。地域団体や里づくりの拠点を訪ね、農業体験も行います。

プログラムの特徴

地と知と志

3つを柱とした学びとワークを組み合わせた実践的なプログラム

農村スタートアップ

ビジネススタートアップでなく、農村スタートアップを考える

現場に直結

そのまま創業に繋がる地域理解とネットワークが得られる

多様な関わり方を推奨

移住・二地域居住、農や食からツーリズム、環境、ITビジネスまで

週末だけで受講できる

月に1回、土日に集中開講。会場は新神戸駅から近く、遠方からの受講に配慮

実現までサポート

現場に通じたメンター、コーディネーターが創業の実現までサポート

募集しています 例えば、こんな人を



新たな事業を始めたい・開拓したい



農業や食のビジネスを始めたい



神戸の農村に移り住みたい



神戸の農村ネットワーク(ヒト・モノ・情報)が欲しい



神戸の農村で何が出来るのか考えてみたい



新しい都市農村共生のかたちと暮らしをつくりたい

KOBE

“神戸農村”とスタートアップ

神戸と聞いてイメージするのは何でしょう。港、食、異国情緒？

実は神戸では、北と西に少し足を伸ばすと豊かな田園を目にすることができます。

しかし、神戸の農村地域では近年、人口減少、農業や仕事、福祉や教育や交通など、様々な問題を抱えています。

そこで考えられたのが、神戸の農村、つまり北区、西区における、新しい事業や仕事の創出を支援するこのスタートアッププログラムです。

ただし、目指しているのは単なる創業ではありません。実は、日本、さらに世界を見渡しても、神戸のように大都市と農村がコンパクトに連なる地域はあまりないのです。そこには新しい時代の都市農村共生の仕組みを生み出す可能性が満ちています。創業だけに留まらず、神戸ならではの農村文化の創造、それが私たちが目指すプログラムです。

創業を通してぜひ一緒に、神戸から新しいライフスタイルを創り出していきましょう。



これまでの卒業生の活動 表紙の5名は、卒業生たち！

1期～6期のプログラム卒業生の活動も多彩。プログラム内でも、経験談の共有や、現地の見学など受講生をサポートします。

「神戸農村スタートアッププログラム公式note」

卒業生のその後の活動を取材！

今後、随時更新していきます。



飲食

農を体感するカフェ

C-farm 稲垣 将幸 (3期生)



「食・体・住」を通じて、多くの人に農に触れてほしいという思いから、西区平野町を拠点に、自身の新規就農と、カフェをオープン。元独立リーグのプロ野球選手でもある。

拠点

農ある暮らしを伝える交流拠点を運営

magatama field 遠藤 修作 (2期生)



受講後に北区八多町の畑付きの空き家に出会い、拠点施設を開業。農業や里山に触れることができるプログラムを多数実施し、幅広い世代の参加者に自然と暮らしのつながりを伝えている。

企画

「暮らしと農をつなぐ」マルシェを運営

ふたごやまマルシェ 山中 貴代美 (1期生) 香川 麻衣 (3期生)



受講後に農業研修で出会ったふたりが、2023年より月1回、北区の玄関口・市営地下鉄谷上駅前で、地元の農家さんや暮らしを彩る飲食店等を集めたマルシェを開催。

農業

実家のぶどう農園の継承

高見農園 杉原 希 (6期生)



西区岩岡町にある実家のぶどう農園を守りたいと思い、プログラムを受講。現在は、ぶどう作りを両親から学びながら農園の発信にも力を入れ、事業継承に向けて日々活動している。

SCHEDULE

スケジュール



月1回の週末集中開催で、教室でのセミナーと現地をフィールドとしたワークショップとなっています。
年明けからは、ビジネスプランや活動アイデアを形にするワークショップを実施していきます。

各回の時間 [1] 13:00~14:20 [2] 14:30~15:50 [3] 16:10~17:30

志と計画を作る
Make Mission / Plan
地域と人を知る
Know Where / People
知と行動を知る
Know How / Process

9/27 土
谷上SHビル

10:30~12:00 開講式

- 1 神戸農村の概要 一般財団法人 神戸農政公社 里山農村地域振興本部
- 2 神戸農村の多様な仕事 鶴巻 耕介 神戸市農村定住促進コーディネーター／つるまき農園
- 3 リサーチの手法・ネットワーキング

フィールド
ワーク
28 日

10:00~16:00 フィールドワーク①

<地域づくりコース／地域ビジネスコース> 淡河宿本陣跡／シェアスペース結／箱木千年家

10/18 土
谷上SHビル

- 1 農村ビジネス 中塚 雅也 神戸大学大学院農学研究科／教授
- 2 農村ビジネスと地域づくりの最前線の動向や、地域資源の活かし方について学び、イノベーション創出の理論と技術から新たなアイデアを考えます。
- 3 リフレクション 講座の振り返りと、フィールドワークの目標設定を行います。

フィールド
ワーク
19 日

10:00~16:00 フィールドワーク②

<地域ビジネスコース @北区> 一十土／はたとね／madobe
<地域づくりコース @西区> 小寺ユニバーサルファーム／あきさだ農園／RURAL ATERIER えとなど

11/22 土
谷上SHビル

- 1 ビジネスモデルデザイン 岡田 明穂 一般社団法人関西dラボ／代表理事
- 2 ビジネス・経営はデザインする時代、スタートアップもデザインする時代です。“新たな価値”を創造するプロセスを、体得していただきます。
- 3 リフレクション 講座の振り返りと、フィールドワークの目標設定を行います。

フィールド
ワーク
23 日

10:00~16:00 フィールドワーク③

<地域づくりコース @北区> neo yorai／SPIN-OFF COFFEE／ひの家ふえ
<地域ビジネスコース @西区> 神戸農園ハレいろ／C-farm／こうべアグリパーク

12/13 土
谷上SHビル

他地域での事例を学び、自身の創業や神戸農村での活動につなげます。

- 1 廃村再生を通じた地域創生と観光ビジネス 大西 猛 株式会社glaminka／代表取締役
- 2 地域の自治の仕組みとこれからの関わり方 戸田 幸典 特定非営利活動法人丹波ひとまち支援機構／代表理事
- 3 リフレクション 講座の振り返りと、フィールドワークの目標設定を行います。

14 日
谷上SHビル

- 10:00~12:00 フィールドワークからの学び&リサーチ報告会 + 交流会（任意参加）
13:00~15:00 ビジネスプラン共有 1~6期生が集う機会。

1/17 土
谷上SHビル

創業や活動を始める上で、他者に知ってもらうためのスキルや事例を学びます。

- 1 伝える・伝えるデザインのコツ 和田 武大 株式会社デザインヒーロー／デザイナー
- 2 事業プレゼンの方法 吉永 隆之 NPO法人コミュニティリンク／Urban Innovation Japan ディレクター
- 3 ビジネスプランブラッシュアップ 各自のビジネスプランについて、相互にフィードバックします。

2/7 土
谷上SHビル

自身のビジネスプランの伝え方や、最初の1歩目の踏み出し方を学びます。

- 1 事例共有／卒業生の初動とプロトタイプについて 卒業生を招いての経験に基づく共有の場。
- 2 ビジネスプランブラッシュアップ
- 3 <地域ビジネスコース> 事業計画・資金調達の手法 谷口 悠一 たにぐち公認会計士事務所 代表／コパコ株式会社 代表取締役
<地域づくりコース> 地域活動・コミュニティデザインの整理

3/1 日
谷上SHビル

1 プラン発表会/修了式

各自のプランを発表します。コメンテーターが、その後のスタートアップに向けた具体的な助言を行います。最後にプログラムを締めくくる修了式を行います。

<地域ビジネスコース> 資金計画までを含めた事業プランの発表
<地域づくりコース> 神戸農村地域で取り組む自身の地域活動(創業含む)案の発表

PLATFORM

プラットフォーム

神戸の農村に関係する事業者・農家、大学研究者、定住促進コーディネーター、デザイナーなど、多様なアクターがプラットフォームチームをつくり、みなさんの神戸農村でのスタートアップをサポートします。

セミナー／講師



大西 猛

株式会社glaminka
代表取締役



戸田 幸典

特定非営利活動法人
丹波ひとまち支援機構
代表理事



安藤 美保

淡河バンブープロジェクト
副代表



新田 嘉己

山田民俗文化保存会
会長



吉田 彰

一般社団法人一十土
代表理事



池尻 裕

madobe
代表



岡田 明穂

一般社団法人関西dラボ
代表理事



吉永 隆之

一般社団法人
Urban Innovation Japan
代表理事



植條 峰雄

小寺ユニバーサルファーム
運営管理者



秋定 智子

あきさだ農園
栄養士、野菜ソムリエ



赤井 一隆

neo yorai
有限会社 あかい工房／代表



森屋 恵慈

SPIN-OFF COFFEE
代表



谷口 悠一

たにぐち公認会計士事務所
代表



和田 武大

コーディネーター(事務局)
株式会社デザインヒーロー
デザイナー



樋ノ上 美和

ひの家ふえ
代表



田村 彩花

佐々木 隆仁 代表
神戸農園ハレいろ



稲垣 将幸

C-farm
代表



辻 吉彦

こうべアグリパーク
TisTa株式会社／代表取締役

コーディネーター(運営スタッフ)



スーパーバイザー

中塚 雅也

神戸大学大学院農学研究科
教授



コーディネーター(事務局)

鶴巻 耕介

つるまき農園
代表



コーディネーター(記録)

山田 真輝

合同会社gyoninben
プロジェクトマネージャー



4期 卒業生

コーディネーター(交流)

伊藤 絵実里

株式会社くさかんむり
企画担当



神戸市地域
コーディネーター(北区担当)

2期 卒業生

コーディネーター

白井 綾香

SUICOU
プロジェクトマネージャー



コーディネーター

石野 武

なちゅうすふあーむ
有機農家



神戸市農村定住促進
コーディネーター(西区担当)

コーディネーター

大皿 一寿

ナチュラリズムファーム
有機農家



コーディネーター

山田 隆大

一般社団法人やまとた
代表理事



神戸市地域
コーディネーター(西区担当)

5期 卒業生

コーディネーター

宮本 遥香

場所



シェアスペース結(むすひ)

竹の利活用を進める「淡河バンブー
プロジェクト」の活動拠点。



箱木家住宅(箱木千年家)

現存する日本最古の民家(国指定
重要文化財)。



はなとね

築250年以上の茅葺き古民家を活かした
ベーグルと蒸しパンのお店。



一十土

築100年の古民家をリノベーションした、
一棟貸し&地域の拠点。



小寺ユニバーサルファーム

子どもや高齢者、障がいの有無に関係なく
誰もが一緒に楽しめる菜園。



neo yorai・SPIN-OFF COFFEE

住まいであり、カフェであり、コミュニティ
でもある、これからの暮らしを語る拠点。



C-farm Cafe

農家が営む、有機野菜をふんだんに
使用したカフェレストラン。



RURAL ATERIER えとと

空き家になった実家を活用した、里山の自然
や文化、地域農産物の魅力を発信する拠点。

2025年度 受講者募集の概要

WEBサイト



募集人数 20名（定員を満了し次第終了）

応募期間 2025年7月18日（金）～8月31日（日）※定員を満了した場合、期間を待たずに募集を終了する可能性があります。

応募方法 「神戸農村スタートアッププログラム」Webサイトのエントリーフォームから申し込みください。 <https://kobenoson.jp>

選抜方法 書類と受講生の多様性に基づき、受講者を選抜させていただきます。
（定員を満了し次第募集を終了することもありますので早めのエントリーをお願いします。）

受講料 60,000円（税込、振込手数料別）※フィールドワークに向かう交通費等は別途必要です。交流会や食事等の費用は含まれておりません。

全体スケジュール
7～8月 募集期間（定員を満了し次第終了）
8月31日 締切
9月2日 受講者最終確定 → 受講料振込
9～3月 プログラム開講（原則、月1回の土日開講）
9月27日 開講式
3月1日 修了式・最終発表会

※詳細はWebページにて確認ください。気象・交通状況等により予定が変更されることもあります。

説明会日程

会場＆オンライン

プログラムの説明(40分)と質疑応答(10分)を予定しております。説明会后、個別相談も承ります。



説明会の詳細・お申し込みはこちらから！

オンライン説明会

オンラインでの説明会（動画）も実施しています。WEBサイトより視聴申込みください。

個別オンライン相談も受け付けています。詳しくは上記、WEBサイトをご覧ください。

① 7/23(水) 19:00～20:00 東灘区文化センター（会議室3）

神戸／東灘区 神戸市東灘区住吉東町5丁目1-16

② 7/29(火) 19:00～20:00 SF大阪梅田サテライト

大阪／梅田 大阪市北区芝田2-3-16東洋ビルディング北館 3階

③ 7/31(木) 19:00～20:00 URBAN PICNIC スタジオ

神戸／中央区 神戸市中央区加納町6-4-1 東遊園地内

④ 8/6(水) 19:00～20:00 natural marche HareBare

尼崎 兵庫県尼崎市浜2-15-18

⑤ 8/8(金) 19:00～20:00 垂水区文化センター（会議室1）

神戸／垂水区 神戸市垂水区日向1丁目5-1

⑥ 8/9(土) 15:00～16:00 淡河宿本陣跡

神戸／北区 神戸市北区淡河町淡河792-1

⑦ 8/19(火) 19:00～20:00 西区役所（5階 505会議室）

神戸／西区 神戸市西区梶台5-4-1

⑧ 8/20(水) 19:00～20:00 Incubation Studio SoWelu

神戸／灘区 神戸市灘区水道筋6-1-3

イベント・ブース出店 ※予約不要。詳細はWEBサイトでご確認ください。

7/20(日) 16:30～20:30 神戸／西区 ウェルアベニューマルシェ

7/26(土) 8:30～11:00 神戸／中央区 EAT LOCAL KOBE

7/27(日) 13:00-16:00 神戸／北区 ふたごやまマルシェ

8/1(金) 10:00～14:00 神戸／北区 はらのついたちマルシェ

ABOUT

神戸市の農村地域（北区・西区）での起業や事業づくりに特化した、創業支援プログラムです。神戸の農村に関係する事業者、農家、大学研究者、移住コーディネーター、デザイナーなど、多様なアクターがプラットフォームチーム（事務局：一般社団法人 神戸農村ラボ）をつくり、神戸市の事業の一環として、活動を進めています。

また、神戸大学大学院農学研究科地域連携センターの協力のもと、プログラムの企画を行うとともに、丹波篠山市で行っている「篠山イノベーターズスクール」とも連携しています。淡河宿本陣跡などを中心に、神戸市内の人と拠点を繋げながら、みなさんの創業を支援していきます。



※駐車場はありません。お車の場合は、近隣のコインパーキングをご利用ください。

セミナー開催場所

谷上SHビル 多目的ホール

神戸市北区谷上東町1-1 7F

神戸市営地下鉄
「三宮駅」から約10分
「新神戸駅」から約8分

神戸市営地下鉄・神戸電鉄
「谷上駅」改札出てすぐ

連絡・問い合わせ先

神戸農村スタートアッププログラム事務局

〒651-1603 神戸市北区淡河町淡河792-1 淡河宿本陣跡内
一般社団法人 神戸農村ラボ

Mail info@kobenoson.jp
WEB <https://kobenoson.jp>

主催 神戸市・一般財団法人 神戸農政公社
運営 一般社団法人 神戸農村ラボ

企画協力 神戸大学大学院農学研究科地域連携センター
協力 一般財団法人 淡河宿本陣跡保存会